

海老沢火星図, 1957-1959.

海老沢嗣郎は、1907年～1956年に得られた各国の観測者達の眼視観測や写真観測および自身の眼視観測を整理し、精密な火星図を作製しました。この火星図は縦約40センチ、横約20センチの画用紙3枚で構成され、従来の模様名に加えて海老沢が考案した模様名も記録されています。当時最も精密な火星図の一つとして国際的に高く評価されました。

出所・作成 海老沢嗣郎; 京都大学大学院理学研究科附属天文台
資料年代 1957年～1959年
数量 台紙に貼り付けたスケッチ3枚
メタデータ 4レコード



川村多實二資料, 1902-1964.

川村多實二は、京都帝国大学で日本初となる動物生態学を講じた人物です。この資料は、川村が退官まで勤めた理学部附属大津臨湖実験所の官舎に長らく残されていたもので、2002年、総合博物館に移管されました。『動物生態学』『日本淡水生物学』『鳥の歌の科学』に代表される自身の著作や参考書・原稿・ノート・書簡・スケッチなど様々な資料が含まれます。

出所・作成 川村多實二, 京大大学生態学研究センター(京都大学総合博物館蔵)
資料年代 1902年～1964年作成; 多くの資料は1930年～1964年
数量 3ケース, 3箱, 2括
メタデータ 475レコード



京都大学総合博物館蔵キリシタン関係資料, ca.1920-2004.

京都大学総合博物館所蔵の宗教絵画「紙本著色聖母十五玄義・聖体秘跡図」(通称「マリア十五玄義図」)に関する、発見当時から詳細調査、修復過程までの写真記録です。この資料が発見された頃の写真を含むガラス乾板写真、国立歴史民俗博物館との共同研究で撮影した光学分析写真、2004年度の全面修復時の写真の三つの内容から構成されています。

出所・作成 京都帝国大学文学部; 京都大学大学院文学研究科, 京都大学文学部博物館; 岡墨光堂
資料年代 1920～30年代, 1996年度, 2004年度
数量 ガラス乾板写真154枚, 写真フィルム1707枚, 写真データ579点
メタデータ 2479レコード



藤原元典「アリチアミンに関する研究」ノートおよび関係資料, 1950-ca.1998.

かつて日本で国民病とまで言われた脚気は、ビタミンB₁欠乏に原因があると判明しても、その吸収率やコストの問題から撲滅には至らずにいました。藤原元典は、ニンニクの成分アリシンとビタミンB₁の化合物「アリチアミン」が体内でビタミンB₁に戻り、安定して吸収されることを発見しました。この資料はそのアリチアミンに関する自筆研究ノートと諸資料です。

出所・作成 藤原元典(京都大学大学院医学研究科提供, 京都大学総合博物館蔵)
資料年代 1950年～1952年, 1955年～1998年
数量 研究ノート1点; 関係資料のペ101点
メタデータ 151レコード



京都府椿井大塚山古墳出土品保存修理事業映像資料, 2010-2013.

この映像資料は、2010年から2012年にかけて行われた椿井大塚山古墳出土品保存修理の記録映像です。京都大学では、本修理に際して、遺物が総合博物館をでるところから、公益財団法人元興寺文化財研究所で保存修理され、総合博物館にもどってくるまでの各工程を丹念に映像に残しました。

出所・作成 京都大学大学院文学研究科考古学研究室, 京都大学総合博物館
資料年代 2010年～2013年
数量 記録映像データ1141件, 映像コンテンツ5件
メタデータ 1199レコード



京都帝国大学工学部建築学教室35mmフィルム: 実写 関東地方大震災[, 1923.]

多くの複製を生んだとされる関東大震災映画フィルムの中で本資料映像は鮮明さで群を抜きます。震災直後の都心の様子が収められ、炎と煙に巻かれていく家屋、広場に集まりひしめき合う群衆、荷物を運び出し避難する人々とその頭上に舞う火の粉まで活写され、損壊していた12階建ての浅草・凌雲閣が後日爆破処理されるシーンも含まれています。

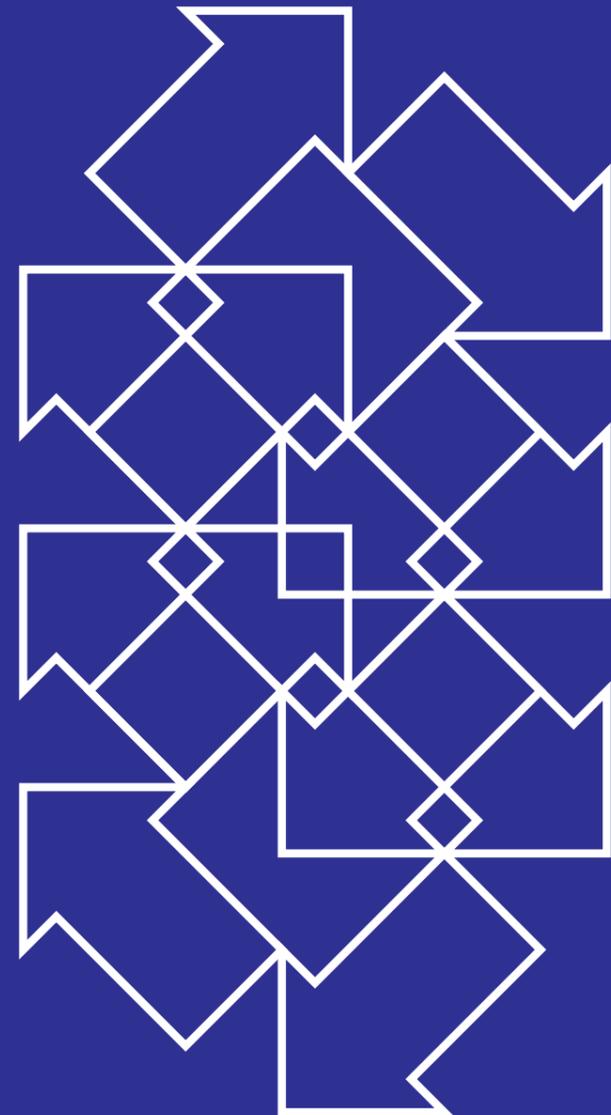
出所・作成 大阪毎日新聞社, 京都帝国大学工学部建築学教室; 京都大学大学院工学研究科建築学専攻
資料年代 1923年9月1日(映像内容)
数量 35mm映画フィルム1点
メタデータ 4レコード



Digital Collection Guide, Research Resource Archive, Kyoto University

京都大学研究資源アーカイブ デジタルコレクションガイド

<http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>



連絡先
京都大学研究資源アーカイブ / 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館
TEL: 075-753-3272 FAX: 075-753-3277
E-MAIL: kurra-info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

2015年3月24日 発行

京都大学研究資源アーカイブ デジタルコレクション

京都大学研究資源アーカイブ(KURRA)は、京都大学の教育研究の証拠となる研究資料を保存し、今後の教育研究に活用していくための活動です。KURRAの京都大学デジタルアーカイブシステム(Peek)では、研究資料の概要や詳細な情報を、画像・映像等のデジタルデータとともにご覧いただけます。以下は、Peekで閲覧・視聴できるデジタルコレクションの一覧です。研究資源アーカイブのwebサイトや映像ステーションの端末からご覧ください。

Peekには、一般にご覧いただける「パブリックモード」とログインして使う「研究者モード」があります。「研究者モード」は、京都大学の学生や教職員の場合、ECS-ID(学生)、SPS-ID(教職員)を入力するとログインできます。また、学術認証フェデレーション(学認)参加機関の発行するIDをお持ちの方もログインして利用できます(利用できない場合、所属機関の認証サービスへご相談ください)。

研究資源アーカイブwebサイト <http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/> 「検索システムで資料を見る」より

- 登録されている資料(画像・映像等)は、教育研究にご利用いただけます。
- 出版物の掲載・報道等の二次利用に関しては、事前にお問い合わせください。
- デジタルコレクションは、予告なく変更されることがあります。このガイドは、2015年3月24日時点の内容です。

凡例	このガイドは、コレクションのタイトル、資料内容の概要に続いて、つぎの項目を表示しています。
出所・作成	コレクションの作成者や所蔵者
資料年代	コレクションの中の資料の作成、収集、編集、使用、保管等の日付(年月日)の範囲
数量	コレクションの中の資料の数、構成、大きさ等
メタデータ	登録されたコレクションやその中の資料を説明する記述データ(これをここではメタデータという)の件数
※タイトルは、正式のタイトルがあればそれを用い、なければ作成者や収集者、資料の特徴等から命名し、資料の日付やその範囲を年で示しています。	
	マークがついているコレクションは、映像ステーションでのみ視聴いただけます。

京都帝国大学文学部考古学教室ガラス乾板写真：石舞台古墳発掘，1933-1935.

1933年および1935年に京都帝国大学教授、濱田耕作を中心とする文学部考古学教室が奈良県と協力して実施した石舞台古墳発掘の記録写真。発掘現場だけでなく、調査の参考資料、模型、図面などの写真も含まれています。

出所・作成 京都帝国大学文学部考古学教室
資料年代 1933年～1935年
数量 写真乾板216枚、写真画像216点、現状記録画像650点
メタデータ 241レコード



京都帝国大学文学部考古学教室16mmフィルム：石舞台古墳発掘，1933-1935.

1933年および1935年に京都帝国大学教授、濱田耕作を中心とする文学部考古学教室が奈良県と協力して実施した石舞台古墳発掘の記録映像。当時、発掘の経過を映画で記録することは珍しい試みでした。発掘現場の動きや周辺の様子をとらえています。

出所・作成 欄津正志・末永雅雄(撮影・編集)、京都帝国大学文学部考古学教室
資料年代 1933年撮影、1935年撮影
数量 16mmフィルム1巻(白黒、サイレント、25分11秒)、映像データ1点
メタデータ 1レコード



京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊地質班関係資料，1955-1956.

1955年の京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊および1956年日バ合同探検隊(東部ヒンズークシ)に参加した藤田和夫(地質学)の野外調査による記録資料。写真を中心に、ルートマップ、探検日誌、探検隊の運営記録等があります。

出所・作成 藤田和夫(京都大学総合博物館蔵)
資料年代 1940年、1942年、1955年～1957年
数量 モノクロネガ収納箱1箱(ネガ151束)、カラースライドファイル3冊(スライドシート21枚)、ルートマップ収納箱1箱(31ファイル)、関連資料2箱(原稿やスクラップブック、探検関連出版物など21点)、写真画像3965点、現状記録画像305点
メタデータ 4116レコード



宮本正太郎資料：火星スケッチ，1955-1976.

京都大学理学部附属天文台花山天文台長を務めた天文学者、宮本正太郎による火星の観測記録。横長の用紙に、手書きで火星のようすがスケッチされています。花山天文台の将来計画草稿や地学実習案内、書籍も含まれています。

出所・作成 宮本正太郎、京都大学理学部附属天文台；京都大学大学院理学研究科附属天文台
資料年代 1955年～1976年ほか
数量 資料ケース入20件(スケッチ1510枚、資料5点ほか)、スケッチ画像1478点、現状記録画像96点
メタデータ 1508レコード



東方文化学院京都研究所調査映画フィルム：北支遊記，1934.

東方文化学院京都研究所の研究者らによる1934年8月～9月の中国、北京・北京郊外・山西省大同等の調査の記録映画。2008年春、京都大学人文科学研究所で発見された16mmフィルム4巻のうちの1巻で、フィルムの劣化が激しかったところをデジタル化により映像として復元されました。

出所・作成 長廣敏雄(撮影)、京都大学人文科学研究所
資料年代 1934年8月30日～9月17日[撮影]
数量 16mmフィルム1巻(7・1/4inch系ブリキ缶入り、白黒、サイレント、15分)、映像データ1点
メタデータ 1レコード



東方文化学院京都研究所調査映画フィルム：響堂山と龍門，1936.

東方文化学院京都研究所が1936年3月～5月に実施した北支史蹟調査旅行の記録映画。もともと3巻組以上の部分と推測されます。2008年春、京都大学人文科学研究所で発見された16mmフィルム4巻のうちの1巻で、フィルムの劣化が激しかったところをデジタル化により映像として復元されました。

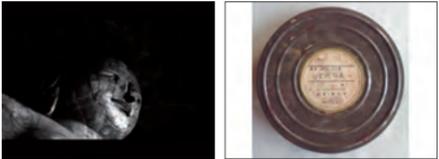
出所・作成 長廣敏雄・水野清一・羽館易(撮影)、京都大学人文科学研究所
資料年代 1936年4月9日～29日[撮影]
数量 16mmフィルム1巻(7・1/4inch系ブリキ缶入り、白黒、サイレント、残存16分)、映像データ1点
メタデータ 1レコード



東方文化研究所調査映画フィルム：雲岡石窟，1938.

東方文化研究所が1938年4月～6月に実施した北京・山西省大同・雲岡石窟等の調査旅行の記録映画。2008年、京都大学人文科学研究所で発見された16mmフィルム4巻のうちの2巻で、フィルムの劣化が激しかったところをデジタル化により映像として復元されました。

出所・作成 水野清一(撮影)、京都大学人文科学研究所
資料年代 1938年4月9日～6月15日[撮影]
数量 16mmフィルム2巻(7・1/4inch系ブリキ缶入り、白黒、サイレント、計35分)、映像データ1点
メタデータ 1レコード



「近衛ロンド」録音テープ資料，ca.1973-1977.

文化人類学の研究者で京都大学名誉教授の米山俊直により録音され、主として京都大学人類学研究会(通称「近衛ロンド」)の例会を録音したオープンリールのテープ。他の人類学または社会学の研究会を録音したテープも一部含まれています。

出所・作成 京都大学人類学研究会
資料年代 およそ1973年～1977年
数量 オープンリール102本、録音データ204点、現状記録画像262点
メタデータ 105レコード



京都大学農学部造園学研究室資料：庭園等図面，1895-1974.

京都大学環境デザイン学研究室に伝わる造園関係図面。京都帝国大学時代から現在まで実測・設計・収集されてきた造園学研究室(造園学教室)の活動成果です。第二次世界大戦前の名勝庭園を中心とする実測図や、戦後の大学研究室が造園設計発展の一翼を担ったことを示す設計図は、造園や建築分野における貴重な資料です。

出所・作成 京都大学農学部造園学研究室；京都大学大学院農学研究科環境デザイン学研究室
資料年代 1895年6月～1974年1月作成；多くの資料は1930年～1949年
数量 図面208枚(デジタル七分)；図面保管庫→右に36筒(図面161枚)、図面保管庫→左に36筒(図面98枚)
メタデータ 232レコード



京都大学農学部造園学研究室資料：風景スライド写真，ca.1950-1974.

京都大学農学部林学科造園学講座を担当した岡崎文彬が撮影・収集した1960年代の日本全国の風景地(史跡・名勝、庭園、公園、森林、道路等)を中心とする写真です。1960年代は道路や公営住宅、観光地の開発など、造園設計の対象が拡大した時代であり、本資料には庭園の他に、これらの新しい造園設計対象の風景スライド写真が含まれます。

出所・作成 岡崎文彬、京都大学農学部造園学研究室；京都大学大学院農学研究科環境デザイン学研究室
資料年代 1935年[撮影対象資料に記載された日付]～1974年7月12日[撮影]
数量 段ボール箱4箱；スライドファイル41ファイル；スライドシート384シート(スライド未収納含む)；スライド4313枚
メタデータ 4772レコード

